

第1回 多治見市総合計画審議会 会議録	
日 時	令和5年10月6日（金）15時00分～17時00分
会 場	多治見市役所本庁舎2階大会議室
出席委員	菊地裕幸委員（会長）、安藤英利委員、生駒隆幸委員、市岡紀委員、大嶋美恵子委員、小木曾利之委員、加藤千恵美委員、加知康之委員（職務代理者）、木下貴子委員、林竜一委員、原国夫委員、原美奈委員、広瀬雅史委員、福村郁夫委員（委員16名中14名出席、50音順）
欠席委員	中村奈津子委員、三好晴之委員
事務局	桜井企画部長、皆元企画防災課長、島津課長代理、山田課長代理、伊藤総括主査、藤田総括主査、村瀬主査、安田主査
傍聴人	2名
会議録要旨	
1	開会／会議成立報告
2	市長挨拶 市長 各分野の専門家として審議会委員への就任をお願いしたところ、ご快諾いただき感謝する。第8次総合計画を策定し、市民の皆さんに市政運営の方向性を示したい。市長一期目の総合計画ということもあり、私の市政に対する思いを反映した計画であるため、厳しい目で見てください。
3	委嘱状交付
4	委員及び事務局紹介
5	会長の互選について 事務局 会長を選出する。立候補はあるか。 （立候補なし） 事務局 事務局案として、会長に菊地裕幸委員を提案する。 （拍手・承認） 事務局 菊地委員を会長に任命する。 会長 会長職という大役を仰せつかり、身が引き締まる思いである。推薦いただいたからには、多治見市の発展のため努力したい。
6	職務代理者の指名について 会長 続いて、職務代理者を指名する。加知康之委員にお願いしたい。 （拍手・承認） 会長 加知委員を職務代理者に指名する。 委員 微力ではあるが、しっかり務めるのでご協力いただきたい。
7	諮問
8	議事（1） ア「総合計画について」、イ「市民参加等の経緯について」 会長 事務局に説明を求める。 事務局 （スライド資料及び資料4に基づき説明） 会長 ただ今の説明に質問はあるか。

(質問なし)

議事(1) ウ「第8次総合計画 基本構想(案)、基本計画(案)について」

会長 事務局に説明を求める。

事務局 (資料5に基づき説明)

議事(2) 審議(質疑応答)

会長 事務局からの説明に対し、質問はあるか。次回以降、基本構想及び基本計画(案)について詳細に審議するため、本日は総合計画全般に係る質疑とする。

委員 多治見の特長として良い点を書き出しているが、人口減少の要因は悪い点が影響している。第11次総合計画の頃には、目標を達成しても8.5万人まで減少してしまう。子育て、経済、医療・福祉の3大政策で人口減少が止められるか、不安である。

事務局 多治見市は自然動態による人口減少割合が大きい。自然動態は平成20年以降、死亡者数が出生者数を上回っており、死亡者数は1990年から2020年の30年間で倍増した。要因は、昭和50年代以降の大規模住宅団地開発に伴い転入した年齢層の高齢化である。出生者数は、同期間で約4割減少している。転出超過はしているものの改善傾向であり、今後も社会動態の改善に向けて取り組む。

委員 第7次総合計画では2040年まで「人口10万人維持」を掲げていたが、今回は大幅に前倒して2028年までとなっているが、何があったのか。第7次総合計画の見立ての前提は何か。第8次総合計画はどう判断したのか。第7次総合計画は人口減少に対して力強い表現だったが、第8次総合計画は弱い印象を受け、人口減少に対する姿勢が伝わってこない。

事務局 前倒しになった大きな要因は、第7次総合計画の自然動態及び社会動態の目標が達成できなかったことにある。人口減少は全国的な傾向であり、今回改めて人口推計し、10万人維持は難しいと判断した。第8次総合計画を策定するうえで、人口減少に対しては二つの点を重要視しており、一つ目は、目標人口を達成するために人口増の取組を実施するという視点。二つ目は人口減少社会においても、持続可能で元気なまちを実現するという視点である。

委員 グラフから見て、2050年の8.5万人で人口減少は底打ち、ということか。

事務局 2100年前後に人口は横ばいになる見込み。

委員 地域経済にとって、マーケットの縮小は大きな問題である。人口減少をここで止める、という決意や心意気が表現されていると安心。生産年齢人口比率の議論だけでなく、やはり人口規模を維持してほしい。

委員 市の歳入は、人口減少により減額するのではないか。歳入予測値のグラフの説明が欲しい。

事務局 市税や地方交付税等の歳入に対し、いくら歳出できるか、で考える。令和7年度と令和9年度の歳入予測値が大きく目立っているが、学校建築等の大型事業が集中しているためであり、補助金や市債等の増額を見込んでいる。

委員 第7次総合計画の歳入予測値が右肩下がりだったのは、駅南再開発などの大型事業を計画に入れていなかったためか。

事務局 市税推計の差もあるが、この段階では企業誘致の効果が見込めていなかった。

委員 第7次総合計画には無かったが、基本計画の体系図があるのはよい。A3用紙1枚程度で計画全体を俯瞰できると、さらに見やすい。

事務局 議決後、冊子化する際の参考とさせていただく。

委員 次回の審議会で、基本計画はどこまで細かく説明されるのか。

事務局 政策の柱ごとに、新規及び目玉事業をメインに説明する。

委員 第7次総合計画からの継続事業や、第8次総合計画からの新規事業がどれか分かりにくい。基本計画(案)が各課の基本的な役割の列挙に見える。

事務局 第2回審議会で、分かりやすい体系図をお示しする。

委員 KPIは実行計画で出てくるのか。後から作成するのか。

事務局 総合計画策定後に、各基本計画事業に1つ以上、成果指標を設ける。後で作成する実行計画の冊子に掲載する。

委員 討議課題集等、よく分析されているが、第7次総合計画から何がどう変わり、どう実行するのが分かりにくい。分かりやすさを第一に考えてほしい。

事務局 次回、重点施策を中心に説明したい。

委員 自然動態の目標について、合計特殊出生率に結婚率も加えているか。

事務局 希望出生率は、国立社会保障・人口問題研究所のアンケートを基に算出されたもので、独身者の結婚の希望、出産の希望も加味されている。結婚し、子どもが生まれる、ということを前提としている。

委員 目標値 1.8 人に対し、現状は 1.33 人だが、この差はどう理解したらよいか。

事務局 現状の 1.33 人は、子を持ちたいが様々な理由で持てない人がいる結果の数字である。そういう方々の障壁を取り除くことで 1.8 人となる、という設定をしている。

委員 総合計画は実現可能な目標を掲げるべきで、人口減少についての目標が高すぎるのではないか。

事務局 様々な議論をし、厳しい数字ではあるが、高いところを目指さなければならないため、このような目標設定とした。

委員 2050 年までに 8.5 万人より上を目指さなければいけないのではないかと。瑞穂市等、人口増加している自治体もあり、多治見市の今のポジションを説明する必要がある。

委員 具体的な事業が分かった方がイメージしやすいため、今回はツリー図があるとよい。

事務局 柱ごと、体系図に基本計画事業も含めてご提示する。

委員 人手不足の現状把握はしているか。どこを強化したらよいかを明記してはどうか。若者の正規労働者の就業機会を狙いたい。

事務局 有効求人倍率は依然高いままであり、特にパート労働者の倍率が高い。次回、さらに分かりやすく説明したい。

9 その他

会長 その他連絡事項について事務局より説明を求める。

事務局 第2回審議会は10月16日(月)に開催する。第3回で審議会における意見を答申としてまとめるため、第2回までのご意見を答申案として固めたい。今回の会議録は事前に送付し、

次回委員会の冒頭でご確認いただく。また、総合計画全般に対する質問等は 10 月 11 日 (水)まで受け付け、次回委員会の中で回答をご報告する。

会長 全ての議題が終了したため、進行を事務局にお返りする。
事務局 これで第1回総合計画審議会を終了する。

<会議終了>